

調査の進め方・報告書のまとめ方の項目（未定稿、第7回2011年6月18日講義用）

- 1．文献調査（サーベイ調査）
- 2．現地踏査
- 3．ヒアリング調査
- 4．アンケート調査、実態調査
- 5．調査委員会、計画策定委員会、中間報告
- 6．報告書作成

1．文献調査、サーベイ調査

（1）入手

誰でも見て置かなくてはならないもの

知られていない文献の探索と入手

ポイントとなる資料（ヒアリングでも、アンケートでも同じこと）を見つけたら、それをめぐって論旨を組み立てる

例：ペリエリアブランド創出調査 文献一覧 6．報告書作成参照
ポイント文献 章立て、表（第3章 3/36）

（種類）

- ・過去の論文、報告書
- ・書籍
- ・新聞・雑誌
- ・統計書（官庁統計、団体統計 - 加盟社からの情報 -、意識調査）
- ・地図、図面、写真（画像）

（探索方法、入手場所）

- ・調査依頼先（クライアント）
- ・図書館（大学図書館、公共図書館、省庁図書館、団体図書館、OECD 東京センター図書室）
省庁図書館：厚生労働省がおすすめ（農水省、経産省、国交省、内閣府は経験済み）
- ・書店、古本屋
- ・書籍関連サイト：amazon、「日本の古本屋」等（また、ここから図書館へ）
- ・現地（地方調査、海外調査ではこれが重要）
現地でしか入手できない重要資料を見つければ調査は成功
（例：バングラ調査、淡路島たまねぎ）
- ・ウェブ タイ地域資料の例：巻末参考資料

- ・ヒアリング先に教えてもらう（「その点についてまとめた資料はありませんか？」）
- ・ヒアリング相手が参照している資料を問いつめる（バングラ NGO 調査の例）

（入手方法）

- ・買う、もらう
- ・借りる（コピー、スキャンして返す）
- ・ダウンロード
- ・コピー、スキャン、デジカメ撮影

（資料請求）

- ・欲しい資料の一覧表をつくっておく（場合によっては事前に渡しておく）
例：稲城市総合計画資料一覧（第4回資料）ただしこれは預かった資料一覧

（2）読み込み、整理

- ・通読、拾い読み、まえがきや後ろ書きは必須
- ・抜き書き、箇条書き
- ・カード化
- ・内容を表で整理
例：ベイエリア調査 第2章 3/26、第3章 27/36
- ・年表づくり

（3）データ整理 - 講義のトピックスで逐次紹介 -

- ・統計解析
- ・グラフづくり
- ・表の再整理

2．現地踏査

（1）踏査方法

- ・自分で回る（徒歩、自転車、自動車、電車、運転手を雇う）
- ・現地の人に連れていってもらおう
- ・ヒアリングのときに、現地を見せてもらう（地域、農地、工場、調査現地担当者）

（2）写真撮影

- ・報告書に使う場合と単なる記録用
例：ベイエリア調査 第2章 5/26

- ・使うかどうか分からなくても取っておく。記念も兼ね（デジカメ時代）
- ・文献、展示物等の撮影
- ・ネット上にある写真も著作権があって使えない場合があるので自分で撮る（許可を得るのも大変）

（３）その他

- ・精通者やヒアリング先を見つける
- ・地元の本屋や図書館、資料館などを回る
- ・ついでに観光もする
 地元で食事する（地元の人においしい所をきく。連れていってもらう 例：マレーシアインド料理屋）

３．ヒアリング調査

（１）ヒアリングの種類

個別ヒアリング

企業（本社、工場） 農家、市民、
 行政担当者（首長、企画課（総務課） 各課、公共施設、教育委員会）

グループヒアリング

有識者ヒアリング

（２）ヒアリングの方法

アポどり（自分で電話、知悉者に依頼）

場所：先方に出掛ける、ヒアリングする場所に来てもらう

調査票の用意（特に複数人で調査する場合）

調査項目だけ

細かい聴取内容、数字、地図（農地配置）

調書への記入依頼（ヒアリングに先立って実施。 - 計画策定調査の場合 - ）

巻末「参考資料」に市町村総合計画の調書の例

権威づけ

紹介、学術目的、公共目的（市長名など）

ヒアリング先への配慮

秘密保持、おみやげ、公共目的、調査内容のフィードバック、情報提供（バーター）

通訳

すぐれた通訳ならこちらの意図を理解して自発的に聞いてくれる

高度テクニック

外で聞いたこと、前にヒアリングした相手の情報が本当か聞く

4 . アンケート調査、実態調査

(1) 母集団とヒアリング対象 (科学的根拠は社会調査の教科書参照)

対象

- ・ 住民 - 母集団全住民、20 歳以上住民
- ・ 通勤者アンケート、児童・生徒アンケート等々
- ・ 有識者アンケート
- ・ 企業アンケート 代表者 (社長)、人事担当者、企画担当者、全職員名簿
- ・ 住民基本台帳
- ・ 企業名簿 会社四季報、帝国データバンク
- ・ その他の名簿

抽出法

- ・ 意図的抽出
- ・ 無作為抽出 (ランダムサンプリング、任意抽出) (NHK 日韓市民意識調査の例 : 6 月 11 日レジュメ参照)

サンプル数

- ・ 全数調査 (悉皆調査) とサンプル調査 それぞれ得失あり

(2) 実査

- ・ 配布回収方法 (郵送配布郵送回収、訪問調査、留め置き回収)
- ・ 紙の調査票を配布回収、WEB ベース
- ・ 無記名調査と記名調査
- ・ 回収数、回収率
- ・ 期間 (普通土日を 2 回挟んだ 2 週間)
- ・ 督促、お礼

(3) 調査票

- ・ 回答方式 - 択一回答と複数回答 (すべて、限定数複数回答)
- ・ 回答方式 - 紙ベース : 付け方式、枠に数字記入方式 (限定数複数回答の場合有効、ただし選択肢番号を間違えると大変なことになる)
- ・ 回答方式 - ホームページでクリック方式 (各種のしぼりが可能 - 限定数複数回答、回答しないと前に進めないように出来る - 無回答が原則なくなる)
- ・ 評価点 (建設業 N 社のコンプライアンス調査の例 : 6 月 11 日レジュメ参照)

事例 : 稲城市農業者アンケート (別添「第二次稲城市農業基本計画策定資料」参照)

A . 構成や設問の工夫

回収率を上げるための工夫

- ・趣旨をしっかりと伝える（基本）何に利用されるか
- ・無記名、統計的処理にのみ使用を約束する
- ・市長名で出す（調査に伴う不始末はトップがとると意思表示 安心）
- ・手間をかけない(1)設問数をなるべく少なくする。ページ数を減らす
- ・手間をかけない(2)分かりやすい紙面構成 - 表題を付ける、類別に構成
- ・フェースシート（回答者の属性を聞く部分）を最後にもってくる（はやく本題に入る。個人情報を書きところで回答をやめてしまうことを避ける - フェースシートなしでも意向は聞ける）

期限をはっきり明記

回答者を明確に（宛先が世帯の場合）障害者の場合、主たる介護者が回答の場合も。

自動の場合保護者回答を許すかどうか

選択肢の回答数上限をしつこく記す（無回答を減らす）すべての回答が択一回答や複数回答でも最初に一括して記すのではなく、設問毎に記載

分岐設問は出来たら矢印で飛ばす

選択肢が共通の同類項目は表形式で回答をもらう（分かりやすさと見た目の設問数減少）

誤回答や回答不能を減らす説明を付す 例：問 11、フェースシート「農外所得」

B. 設問種類

評価点（上述）

「個人の意見、実態」と「地域やグループの課題、実態」

特定の政策課題と定番政策課題

定点観測、継続質問（過去の調査と、あるいは将来の調査と）

（４）打ち込み、集計

- ・エクセル、専用ソフト
- ・集計会社委託
- ・グラフ

（５）アンケート調査報告書

- ・調査の概要に記す必須項目

調査の趣旨、 調査名、 対象者、 調査日時・期間、 配布回収方法、 抽出方法、 標本数・回収数（有効回収数）

- ・単純集計結果、クロス集計結果、集計表・グラフ

グラフ種類

円グラフ（択一回答） 棒グラフ（選択肢が多い場合や複数回答） 帯グラフ（択一回答のクロス集計）

表：実数を記した方がよい場合もある（特に全数調査の場合）

無回答を含んだ集計と無回答を除いた集計（どちらかを原則としないと誤解を生む）
棒グラフ並べ替え

順位を表で整理（過去との比較や属性別結果）

・分析

単純な記述、数量解析、調査結果報告書本文の中での分析と分担
アンケート結果に基づく予測計算

（５）その他

・他のアンケート調査に便乗

５．調査委員会、計画策定委員会、中間報告

・第二次稲城市農業基本計画の例（別添「第二次稲城市農業基本計画策定資料」参照）

６．報告書作成

（１）論文、報告書の体裁

体裁にかかわる細かい点は小笠原（2009）参照

（２）注釈、引用、参考の記載方法

・「従来型」と「近年型」（参考資料「ベイエリア調査」の例）

（３）表で整理

・内容を表で整理

例：ベイエリア調査 第２章 3/26、第３章 3/36

・場合によっては結論を表で整理（例：国内 NGO 調査）

（４）グラフで整理

（５）構成

・部品づくりから全体構成へ

・全体構成から部品づくりへ

【参考文献】

・小笠原喜康（2009）「新版 大学生のためのレポート・論文術」講談社現代新書

技術編：グラフ作成のポイント

1. 棒グラフ

(1) 総論

・いずれの項目が最も大きいか（小さいか）、いずれの年が最も大きいか（小さいか）一目瞭然

・項目間、時系列間でどの程度の差があるかが一目瞭然

・折れ線グラフよりマス感（量的感覚）が明確

図録 [4363b](#) 東日本大震災で確認された津波の高さ

・折れ線グラフと異なり基本的にY軸は0が始点（そうでない場合は、波線をつける）

図録 [4363](#) 主な津波被害の地震マグニチュード（明治以降）

(2) 並べ方

単純なランキング

図録 [0331](#) 日本人が好きな韓国料理、韓国人が好きな日本料理

どの程度、上位が突出しているか分かりやすい

時系列

(a) 事件を時系列で単純に並べる

図録 [j007](#) 時事トピックス：アルカイダの攻撃事件による死者数

クロノロジーが視覚化

(b) 時間の長さを均等にして並べる

図録 [4545](#) 1人当たりGDPの歴史的推移（日本と主要国）

輝かしい時代がどのくらい続いたのかなどが視覚化される、他を凌駕した程度も

地理上の位置

(a) 北から南 上記「津波の高さ」

(b) 都道府県 図録 [4362](#) 東日本大震災の被害者数

区分毎に並べる

(a) 地理上：大陸別 図録 [6854](#) 世界の路面電車 単なるランキングより物語るもの多い

(b) 地理上：途上国・先進国 図録 [8080](#) 海外労働からの収入額ランキング

(c) 年次別ランキング 図録 [3964](#) 人気テレビ番組ベストテン

(3) 単位の取り方

指数と原数値

図録 [2485](#) 美容整形市場の国別ランキング

図録 [6372](#) 自転車乗用中の死者（各国比較）

図録 [4363](#) 主な津波被害の地震マグニチュード（明治以降）

（４）複数棒グラフ表現

複数のランキング

図録 [2788g](#) 泥棒が多い国・少ない国

同じX軸項目で複数並べる

図録 [9320](#) 北アフリカ諸国の海外留学先

2．折れ線グラフ

3．散布図・相関図

【参考文献】

・本川裕（2010）「統計データはおもしろい！」技術評論社